

推進に向けて（案）

めざす姿

各機関が連携、コーディネート機能を強化し、活躍したいシニアが経験や知識を活かして、社会活動に加え就業など、必要とされる分野で活躍

今後の取組

県全体での仕組みづくりの強化、新たな分野での取組の展開

◆県内全域での仕組みづくりの加速化

コーディネーターの増員(3→6人)による未配置圏域における連携体制づくり、関係機関の更なる連携・コーディネートカアアップ

◆「地方創生」に資する新たな分野での取組の展開

【重点テーマ】

①就労

AREC やシルバー人材センター、企業等関係機関と連携した就労促進

②地域生活支援

地域包括ケア体制の構築に当たって、高齢者サロンや移送、買い物支援などの「担い手」としての参加促進

③移住者支援

市町村等と連携した、県外からの移住者の生活やネットワークづくりの支援など、受け入れ側（移住コンシェルジュ）としてのシニアの活躍促進

〔上記に加え、婚活・子育て支援、福祉人材確保など県主要施策へのシニアの参加を関係部局と連携して推進〕

推進に当たり

◆主要テーマについては、取組指標を設定して取組を「見える化」

（「関係機関と連携したシニアの新規就労〇〇人」など）

◆各圏域の推進体制、県長寿社会開発センターと県との連携、県庁関係施策部局の連携を強化

推進体制のイメージ

